



J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課  
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085

## ❄️ 今月の話題 ❄️

- ◆ 特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」
- ◆ 排水対策を行いましょ
- ◆ トラクターのメンテナンス
- ◆ 令和4年度肥料農薬購入者奨励要領
- ◆ 農政ダイジェスト



### メモ

✓生産資材申込期日  
令和4年1月20日（木）まで



11月17日にJAレーク伊吹本店で栽培統一研修会が開催されました。県農産普及課より令和3年産の稲作の概要の説明があり、栽培の基本をしっかりといただくことが重要とのことでした。

水稻生産資材に新しい商品が出ていますので、わからないことがあれば、お気軽にご相談ください。

近年、滋賀県内の圃場で特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」が発見されています。繁殖が旺盛で、根絶が困難、拡散性が高く駆除方法が確立していない事から問題になっています。



- ＜来歴＞ 南米原産の多年生草本植物
- ＜特徴＞ 水域から陸域まで幅広く生育が可能。  
7月～10月にシロツメクサの様な白い花が咲く。  
茎は横に這いながら枝分かれし、各節から根を出す。
- ＜性質＞ 茎の切れ端からの栄養繁殖が極めて旺盛であり、  
拡散性が高く、定着すれば急激に増殖する。

## 農業への被害

- ・マット状に繁殖し、水の流れをせき止める。
- ・農業用排水路の維持管理作業に支障をきたせる。
- ・圃場で繁殖すると水稻の収量の減少や収穫作業等に支障をきたせる恐れがある。
- ・生育スピードが速いため、除草回数が増える。



## 除草方法

### ○ 手取り除草・泥上げ作業

- ・地中深く入った根茎があるので、茎葉と一緒に駆除する必要があります。
- ・植物体や、混入した泥を地面に放置すると根を下ろして増えてしまいます。地面と接しないようにビニールで遮断して枯死させて下さい。
- ・安易に裁断して畦畔に仮置きすると拡散する恐れがあります。注意して下さい。

### ○ 薬剤防除

#### ＜畦畔＞

- ・非選択性除草剤の使用で地上部は枯れますが、地下部は残るので1～2か月程度で再生します。これを繰り返して行う事で徐々に衰弱することが確認されています。
- ・「ラウンドアップ」などグリホサート除草剤で防除効果が見込めます。
- ・除草剤の効果的な散布期間は9月以降～降霜期までの期間です。

#### ＜本田＞

- ・本田内に侵入した場合、水稻用除草剤「ジェイソウル」「カチボシ」で生育を抑制する事が出来ませんが、完全に処理できる除草剤は確認されていないので出来るだけ畦畔からの侵入を防いで下さい。

機械除草はダメ！！



刈り払い機での除草は裁断された茎葉が飛散し、  
拡散する恐れがあるので避けて下さい。



# 排水対策をおこないましょう！

冬季の圃場は、水が溜まりやすく稲わらなどの有機物が多い状態で春先まで湛水すると、還元障害に陥りやすくなります。秋起こしや溝切りなどによって、排水による乾田化を促し、土中に酸素が送り込まれるようにしましょう。



降雨や積雪により、機械作業跡に水分が溜まりがちです。



土壌表面に停滞水があり、水が止まっている状態です。

排水性の悪い圃場

還元障害

の原因になります！



溝切りを実施し、来春に向け乾田化を目指しましょう。わだちまで滞水しているところは溝を切って排水溝につなげましょう。

耕起は、なるべく天気が続く時期をねらって、土と稲わらがしっかりと交じり合った状態になるようにしましょう。

## トラクターのメンテナンス

農閑期での農機具点検も、安全で快適な作業につながると同時に米の高品質・安定生産に大切な作業です。

トラクターの爪の消耗を確認しましょう！



デメリット

- ・ワラのすき込みが悪くなり、腐食促進を阻害する。
- ・土の反転が悪くなる。
- ・ロータリーへの草の巻きつきが多くなる
- ・燃費が悪くなる
- ・草のすき込みが悪くなり、雑草が生えやすくなる。

交換の目安

約2cm



耕うん爪の購入交換依頼は、JA・農機センターで承ります。お気軽にご相談下さい。



# 令和4年度肥料農薬購入者奨励要領

## 趣旨

JALレーク伊吹では、産地としての責任と信頼を構築するために、安全・安心な取り組みを行っています。生産にかかるコスト引き下げは組合員の所得向上に直結し、安全・安心な生産物を消費者に届ける上でも重要事項のひとつであります。そのため各予約取引での価格折込・各種奨励対策などで生産資材のコスト引き下げなどに取り組み生産者支援を展開いたします。

## 奨励内容

- ① JALレーク伊吹が供給する水稻・麦・大豆に係る肥料および農薬（一部除外品あり）
- ② 対象期間は令和3年12月1日から令和4年11月30日までの1年間とします。
- ③ 奨励金は12月に対象農家等の口座に入金いたします。

## 奨励除外

- ① 国産化成肥料444・化成肥料201・これいいね（早生用）・これいいね（中晩生用）  
これらの商品については、値上げを抑えた特別通常予約を設定し生産者支援を展開しています。
- ② 育苗培土・水稻に係る防除薬剤・特別売価設定商品・超大型規格商品については、対象外とします。
- ③ 原則、奨励金支払時点において、購買未収金（固定化2カ月以上）の残高がある農家への奨励は対象外とします。

## 大口肥料農薬購入者奨励

- ① 年間100万円以上の肥料農薬の購入農家等を対象とします。
- ② 肥料・農薬購入金額別のランク奨励の奨励率に応じて奨励金を支払います。
- ③ 対象となる供給金額は税別（百万未満切捨て）とします。

## 肥料取引奨励

- ① 各肥料に対して、農家直接引取奨励金を支払います。
- ② 一品目で60袋以上を引取された対象商品につき、商品単価（税別）の2%（円単位四捨五入）とし、上限は20kgあたり30円とします。
- ③ 返品により、対象本数にならない場合は、奨励対象外とします。
- ④ 令和5年度より肥料引取奨励を廃止し、早期配送奨励に変更を予定しています。

期間内 購入金額	奨励率
100万円以上～200万円未満	2%
200万円以上～250万円未満	3%
250万円以上～300万円未満	4%
300万円以上～350万円未満	5%
350万円以上～400万円未満	6%
400万円以上～500万円未満	7%
500万円以上～600万円未満	8%
600万円以上	9%

## ひと月の動き

## 農政ダイジェスト

農業・地域の雑誌「地上」より抜粋  
～定価（税込）618円 購読申込受付中～

### 世界初となる稲と小麦の雑種誕生

東京都立大学と鳥取大学は、世界で初めて稲と小麦の雑種を作りだしたことを発表した。稲と小麦はどちらもイネ科だが、類縁関係が遠く、受粉による交配ができない。そこで花粉の精細胞と胚珠の卵細胞を人工的に融合。小麦に稲の耐湿性も持たせることに成功した。この技術によって新たな育種につながる事が期待される。

### 欲望のままに米を食べる「DEATH丼」始まる

JA全農は、日本のおいしい米を多くの人に楽しんでもらいたいとの思いから、「NO LIMITなどんぶり文化」をテーマにした企画「死ぬほどうまいぜ。DEATH丼」を開始した。特設サイトで高級食材をふんだんに使ったDEATH丼のレシピを公開。カロリー、塩分、脂質などを気にせず、欲望のままに米を食べることを提案する。

### 2021年産米、前年同月比12%安

農林水産省は、2021年産米の取引初月となる9月の相対取引価格を公表した。玄米60kg当たりの全銘柄平均価格は、1万3255円で、前年同月の1万5143円と比べ12%安い。

### 肥料価格、2期連続値上げ

JA全農は、春肥価格を公表。秋肥価格に続いて2期連続の値上げとなった。尿素やリン安の世界最大の輸出国の中国が国内需要を優先する政策を示したことや、好調な需要を背景とした国際市況の上昇などが原因。とくに前年の春肥価格と比べ、リン安を使用する品目はおおむね20%超の値上げとなる。